

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 王慈福祉会	代表者	理事長 胡谷 直	法人・ 事業所 の特徴	「こころゆたかに すこやかに」 王慈福祉会は、高齢者・障がい者・児童など、幅広い分野でのサービス提供を行っています。 十王堂おうじでは、各方面と連携し、いつまでもご利用者様が笑顔あふれる一日を過ごして頂けるような支援や提案を行っています。
事業所名	十王堂おうじ	管理者	蓮岡 亮一		

出席者	市町村職員	知見を有する もの	地域住民 地域団体	利用者	利用者家族	地域包括 支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0 人	1 人	0 人	2 人	0 人	1 人	0 人	2 人	0 人	6 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	・具体的に立てた改善計画がどれだけ達成できたかを総括し、次の計画に反映させる。 ・個々の興味に合った外部研修に参加し、会議の場等で他の職員へフィードバックしていく。	・計画に対する達成度という視点から総括できた。 ・希望の研修に参加することで、意欲が向上した。また、内部研修としてフィードバックすることで、情報共有と自らの理解度を知る事が出来た。	・計画にも具体性がありよかった。無理な計画ではなく、着実に達成できる目標を立てて欲しい。 ・研修への参加に対する意欲はあり、とても良い。 ・柔軟な対応も継続して欲しい。	・明確で達成可能な目標をたて、着実に質の向上を目指す。 ・研修などに積極的に参加し、職員個々のスキルアップを継続していく。
B. 事業所の しつらえ・環境	・清潔な状態を維持するために、清掃体制を継続する事で、清潔感の向上を図る。 ・中庭などでの活動を増やすことで、ご家族、地域の方にも来て頂ける環境を作る。	・常に清潔感のある事業所であり続けるために、職員間で清掃の声掛けを行い、状態を維持する事が出来た。 ・気候の良い時は、中庭等を活用できたが、来て頂きやすい環境にはならなかった。	・築年数の割にはとても清潔で、気持ちが良い。これからも、続けて欲しい。 ・細かいところもきれいだったので、感心した。明るい雰囲気でもよかった。	・入り口から明るい雰囲気であり続けるために、整理整頓、掃除の継続で清潔感を維持する。 ・臭いや音にも配慮し、快適な事業所環境を維持していく。
C. 事業所と地域の かかわり	・近隣の公園や散歩に出かけることで、地域の方との交流できる機会を持つ。 ・高齢者支援センターと協働し、地域との関わり方の向上を図る。 ・日頃のあいさつや、交流を維持する事で関係性を築いていく。	・近隣の公園に出かけ、そこに来られた方と、話すなどの交流は図ることが出来た。 ・地域との関り向上までつなげることが出来なかった。 ・挨拶等日々の小さな交流を続けて行く事は出来た。	・明るく挨拶している光景を見ると、とても気持ちがいいです。 ・分からないことがあれば、どんなことでもいいので相談して欲しい。	・明るい挨拶を今後も続ける。 ・行事だけではなく、普段の生活の中で、関わる機会を作る。 ・地域の方との関り方について、支援センター等に相談し、基礎を作る。

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	・外出行事の機会を増やし、事業所外での活動も行っていく。 ・回覧板を活用し、参加できる行事の把握を行う。 ・地域団体との関りを持つことで、地域の行事への参加が出来るようにしていく。	・事業所近隣の散歩やなどの活動は行う事が出来た。 ・回覧板を確認したが、日程調整等もあり、参加する事が出来なかった。 ・何から始めればよいか悩み、地域団体との関りを持つ事が出来なかった	・散歩など、時々見かけたので、閉じこもっていないのだと感じた。 ・隣の公会堂で集まりも行っているので、時間がある時に寄ってみてはどうか。	・ご利用者の住んでいる地域のイベント等の情報を把握する。 ・ドライブや散歩、縁側を利用し、事業所外での活動を維持する。 ・事業所近隣のイベントを把握し、参加する。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	・事業所から地域の方へ相談を行う事で、意見交換の場となるようにしていく。 ・大きな行事報告だけではなく、日々の活動なども報告する事で、今以上に事業所の取り組みを知って頂く。	・相談を行う事で、職員では思いつかない意見があり、支援に活用できた。 ・日頃行っている生活の報告も行う事で、普段の活動を知って頂くことが出来た。	・せっかく多くの人が集まる機会なので、困りごとなど遠慮せずに相談して欲しい。 ・普段は中々かかわる事は出来ないが、色々報告しているので、よく分かってよい。	・事業所からの相談を積極的に行い、サービス向上につなげる。 ・報告だけではなく、地域の心配な方についての検討行う。 ・事業所からの報告について、普段の様子も積極的に報告していく。
F. 事業所の 防災・災害対策	・防災訓練の日時や内容について、運営推進会議等を利用し事前に案内する。 ・防災訓練を行った際には、内容や改善点、指摘事項などを運営推進会議時に報告する。	・防災訓練の日程について、運営推進会議で事前に案内する事は出来た。 ・訓練内容やその際の指摘事項などを報告することが出来た。	・訓練後の報告で、どのような内容の事を行ったのかなどの報告があり、よくわかった。 ・訓練報告がある事で、安心することが出来た。	・運営推進会議を活用し、防災訓練の案内を継続する。 ・訓練内容について、運営推進会議にて分かりやすく説明する。 ・点検頻度の情報も公開する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年 3月 10日 (17:30～18:30)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	蓮岡・高田・瀧本・中瀬・谷口 樗木・山本・濱田・宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	10人	1人	1人	13人

前回の改善計画	- 面接に同行した職員は責任を持って記録する。その上で口頭でも伝える。また、出来る限りミーティングを開催し事前に情報共有を図る。 - 基本情報等を確認し、不明な点はケアマネジャーもしくは現場の担当者に確認し、必要な情報を把握する。
前回の改善計画に対する取組み結果	- 記録の残すことを徹底し、事前の情報共有を向上させることが出来た。 - 不明な点をケアマネジャーや担当職員等に確認する事を傾掛け、情報を得ることが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	11	0	1	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	10	2	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	10	2	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	8	4	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 以前に比べ、情報共有の重要性を認識するようになり、面接へ同行した職員や書面などで事前に情報を得る事が出来るようになった。 - 得た情報で不明な点等があれば担当職員などに聞く事が出来た。 - 慣れていない時期には特に表情や雰囲気をお細かく確認し、興味のある話題などの提供を行えた。 - 送迎や訪問などを利用し、家人との関係づくりも意識して行う事が出来た。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- 勤務上、利用開始前に全職員が揃ったミーティングが出来ない為、書面のみでの情報になりニュアンスなどがうまく伝わらない。 - 情報を把握しても積極的に関わる機会が少なく、他の職員にうまく伝える事が出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
- 利用開始の早い段階で職員が交代で送迎や訪問に行き、事前に得た情報にプラスしてニュアンスの把握にも努める。 - 不明な点があれば、もっと積極的に自ら担当者等へ情報確認を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年 3月 10日 (17:30～18:30)
2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	蓮岡・高田・瀧本・中瀬・谷口 樗木・山本・濱田・宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	5人	7人	1人	13人

前回の改善計画	・ケアプランを日々認識し、当面の「～したい」を理解する為に新たな書式を作成する事で、確認や認識をし易くするようにする。 ・定期的に委員会などを通じて記録内容の検証を行い目標に合った記録の記入を行い、その人に合った関わりとなっているか検証する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・以前よりケアプランについてより認識をもち、理解を深めることが出来た。 ・介護職員も検証を行い、かかわり方が良いか検証することが出来た。 ・新たな書式を作ることは出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか？	0	4	8	1	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	0	6	6	1	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	7	5	1	13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	0	6	5	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・今までより「～したい」事は何かを考えながらコミュニケーションを取ることで理解を深める事が出来た。 ・本人の思いなどを聞いた際にはきちんと記録に残し、加えてミーティングや職員間で日々話す事で共有する事が出来た。 ・本人の意向を理解し、尊重した支援になっているかを考える事が出来た。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・書式をどのように変更することが思いを尊重する事に繋がるか判断できず、新たな書式を作る事が出来なかった。 ・しっかり考えていくと、感情が入りだんだん主観的な視点になっていき、客観的視点での判断を行う事が難しかった。 ・ケアプランなどを確認する機会が少なく、全員の思いを常に覚えておく事が出来なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・会議の場などで、全員で考える時間を作り、情報と認識の共有を図る。 ・客観的な視点に立ち、本当に必要な支援が行えるようにする。 ・ケアプランに対する認識を今まで以上に向上させ、適切なサービスに繋げていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年 3 月 10 日 (17:30～18:30)
3. 日常生活の支援	メンバー	蓮岡・高田・瀧本・中瀬・谷口 樗木・山本・濱田・宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	2 人	10 人	0 人	13 人

前回の改善計画	・担当が申し送り帳を活用しながら3ヶ月を目安にフェイスシートを見直し、変更を行う。 ・フェイスシートを見直すことで、ご本人の生活状況等を今まで以上に把握する。 ・ご家族との食事会やお茶会などを計画し交流する機会を増やす。
前回の改善計画に対する取組み結果	・全利用者のフェイスシートを3か月ごとに見直す事は出来なかった。 ・特変等あった方や、変化が見られた方については、フェイスシートを見直すことが出来た。 ・交流の機会を増やすことは出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	4	7	2	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	12	0	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	8	4	1	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	11	0	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	10	2	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・今までの生活が行えるように、自分で出来ている事を継続できるような支援を行えた。 ・いつもの違いに気づくことが増え、それを他の職員へ報告するなど情報共有を図る事で、一人ではなくチーム全体で、即時的に支援を行う事が出来た。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・一部の職員間では口頭で共有を行うことが多く、文書などで全職員との共有があまり出来なかった。 ・家族との関係を考慮し、本人の気持ちを理解していても即時的に対応が出来ていない事があった。 ・当日の支援をどのようにするか注目しすぎてしまい。以前の暮らし方まで考えきれなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・自宅での生活についてもっと深く知ること、以前の暮らしを維持できるようにしていく。 ・書面での情報共有を行いつつ、当日出勤職員は、以前と違う情報がないか確認し自ら情報を取りに行く姿勢も持つて行く。 ・本人の本当に望んでいることを理解していくように、周辺情報等も把握したうえで、対応を行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年 3月 18日 (17:30～18:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	蓮岡・高田・中瀬・谷口 古市・山本・横山・濱田・宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	4人	9人	13人

前回の改善計画	・ご利用者の居住地域周辺のオリジナル介護マップを作成し、「何を利用しているか」「何が利用できていないか」「何故利用できないのか」「どうすれば利用できるか」などを考える事で、ご利用者の在宅での生活を理解する。 ・地域資源の一覧も作成し同様に理解、活用していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・オリジナルマップについてどのように作るべきか分からず、作成できなかった。 ・必要な資源は何か考えることは行ったが、一覧にすることや理解する事はできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	6	6	1	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	6	5	2	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	4	6	3	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	7	5	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人や家族から、これまでの生活スタイルはどのようなものであったかを知るように努力できた。 ・自転車での訪問を行う事で地域の様子を知る事が出来た。 ・事業所外ではどのように暮らし、それをどのように支えるべきかを職員間で話す事が出来た。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・どの地域資源が本人に必要なかを理解できていないので、把握する努力を怠ってしまった。 ・家族が近くにいる場合は、地域との関係性を聞く事は出来るが、本人からではあいまいな場合が多く、踏み込んだところまで聞く事が出来ていない。 ・送迎や訪問時に地域資源を把握はしたが、それを活用する方法が分からず、考える事が出来なかった。 ・地域資源の活用が本人の為になるかどうか分からない場合があり、民生委員などの把握を躊躇した。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・資源活用はなぜ必要かを考え、前年度の計画を再実行する。 ・知りえた資源の情報については、活用方法にとらわれず書面に残すなどして、職員間で情報共有を図る。 ・事業所からの支援をどのようにするかばかりを考えず、その人の暮らしを見つめることで、どのような資源を活用するべきかを検討していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年 3月 18日 (17:30～18:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	蓮岡・高田・中瀬・谷口 古市・山本・横山・濱田・宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	7人	2人	3人	12人

前回の改善計画	・事業所全体で地域資源の把握を行ったうえで、その資源がご利用者の支援に活用できるかを検討していく。 ・状態の変化に気付いた時は、全体で情報の共有を図り、いつもの支援にこだわることなく、ご家族とも連携を取りながら事業所の特性を活かした様々な提供を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・状態の変化を早期に気づき、ご家族と連携しながらサービス提供を行う事は出来た。 ・地域資源についてはある程度把握する努力は行ったが、検討まで行う事は出来なかった。 ・ご利用者の状況に合わせて、柔軟に対応を行う事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0	2	8	3	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	1	11	1	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	0	11	2	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	1	10	2	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人の体調や状態、季節や家族の状態などの変化に応じてサービス変更を行うなど、柔軟な対応を提案し、実行する事が出来た。 ・状態の変化があれば、職員間で話す、申し送りを利用するなどして情報共有を図る事が出来た。 ・その場での変更対応と、長期的視点に立った変更の検討を行なう事が出来た。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者の地域資源を理解する事が出来ていない為、地域資源を活用した支援を行えなかった。 ・事業所だけで支援をしてはいけないことは理解していたが、実際にはどの資源をどういう風に活用する事が出来るか（活用するべきか）を考える事が出来なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・事業所で何が出来るとのみにとらわれず、ご家族や地域の方、その他の資源を活用していく。このために、分からないことがあれば、外部の組織に相談してく。 ・今後も、変化に気づき情報共有することで、事業所全体として柔軟な対応を行うようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年 3月 18日 (17:30～18:30)
6. 連携・協働	メンバー	蓮岡・高田・中瀬・谷口 古市・山本・横山・濱田・宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	7人	4人	2人	13人

前回の改善計画	・事前に分かる地域や他機関との会議へ現場の職員も順番に参加出来るように出勤を調整する。出来ない場合は、参加した職員が、情報や内容について、職員会議などを活用し共有する。 ・地域行事を把握し(学校・幼稚園・保育園等)参加出来るよう計画する。 ・自治体や地域包括支援センターとの会議を把握する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・他組織の会議等について、現場の職員はなかなか参加することが出来なかった。 ・保育園や地域の幼稚園との交流は図れたが、定期的なものではなかった。 ・地域等の会議について、自分たちが参加してよいか分からず、参加できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	1	5	6	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	0	3	10	13
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	4	3	6	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	8	1	4	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・保育園や地域の幼稚園などと交流行事を行う事が出来た。 ・開設記念祭を行う事で、地域住民との交流の場を持つ事が出来ている。 ・隣接する事業所の子ども達とも交流を開始する事が出来た。 ・その他のサービス機関とも必要に応じて会議を開催し、意見を聞く事が出来た。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・勤務状況が合わず、他サービスとの会議には一部の職員しか参加する事が出来なかった。 ・開催した行事で地域や子ども達との交流は図れているが、それ以外は訪れやすい場所となっていない為か、自由に訪れる場にはなっていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・事前に地域等の会議日程を把握し、勤務作成時に調整する事で現場の職員も参加できるようにする。 ・開かれた事業所になるにはどうすればよいかを再度考え直し、地域の方がいつでも立ち寄って頂ける事業所になれるように、全職員に意識づけを行う。 ・その他のサービス機関との会議については、時間等調整し、出来るだけ現場職員も参加できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年 3月 31日 (17:30～18:30)
7. 運営	メンバー	蓮岡・高田・太西・瀧本・中瀬・谷口 古市・樗木・山本・横山・濱田・宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	3人	3人	7人	13人

前回の改善計画	・開設記念行事だけでなく、事前に告知を行う事で、地域の方が参加しやすい環境を作る。 ・事業所外でできる活動を増やす事で周囲の関心を高め開けた事業所を目指し地域との関係性を深める。 ・地域と協働して出来る活動はどのようなものか案を出し、ご利用者・ご家族からの意見を伺い、反映するなど、具体的に話し合っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・事業所外での活動を増やすことが出来たが、地域の方との交流できるまでにはつながらなかった。 ・地域の方と協働は出来なかったが、民謡等のボランティア等で交流は図ることが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	1	5	6	1	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	10	1	0	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	6	4	1	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	0	1	6	6	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・職員一人一人がそれぞれの立場から意見を言う事が出来た。また、そのような雰囲気となっている。 ・こういった事業所にしていくなにかについて意見する事が出来ている。 ・苦情があった場合は、すぐに管理者へ報告している。また、内容については掲示や会議での報告を通して迅速に共有し運営に反映させることが出来た。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域の行事など回覧板で案内は来るが、開催日に職員が対応できる日時ではない事が多く、参加する事が出来ていない為、地域との関係性があまりできておらず、協働した取り組みへと発展する事が出来なかった。 ・地域の方に参加して頂ける催しを行う事が少なく、交流の機会が限定されてしまっている。この為、あまり深く話す機会も持つ事が出来なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・事業所外での活動を増やすことで、地域の方と触れ合う時間を増やし、徐々に協働して行事を行う関係性を作っていく。 ・引き続き、「地域と協働して出来る活動は何か」を考えながら、ご利用者、ご家族、地域の方等から意見を伺いながら、活動に反映させていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年 3月 31日 (17:30～18:30)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	蓮岡・高田・太西・瀧本・中瀬・谷口 古市・樗木・山本・横山・濱田・宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	0人	3人	13人

前回の改善計画	- 各職員が年に一度は外部研修を選択し参加の意志を上司に伝える。 - 施設内研修の開催を継続する事で、スキルアップにつなげる。 - 連絡会については開催日程などを把握する。 - 更なるリスクについて研修や委員会を通じて考え、議論を進めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	- 内部・外部研修には参加でき、スキルアップにつなげることができた。 - 自発的に希望の研修を選択し、参加することが出来た。 - リスクマネジメントには取り組んでいるが、さらに活用できる可能性もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	6	5	0	2	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	6	1	3	13
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	2	11	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	7	3	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 外部研修の案内などを掲示する事で、希望の研修を選ぶことが出来た。 - 外部研修に多くの職員が参加でき、スキルアップにつながった。 - 外部研修に参加後内部研修として報告する事で、どこまで理解出来ていたかを確認する機会となった。 - 事故報告書やあっと記録を活用し、各委員会からの意見を聞く事でリスクマネジメントに取り組んでいる。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- あっと記録提出後の議論は出来ているが、それを踏まえさらなるリスクに対する話し合いまでは深める事が出来なかった。 - 地域連絡会の開催日や内容を把握する事が出来ておらず、参加する事が出来なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
- 安全委員会中心に事故報告書やあっと記録を話し合いを行ったうえで、全職員とさらに議論を行う事で、リスクマネジメントの向上につなげる。 - 外部研修に参加する機会を継続することで、スキルアップ、気持ちの向上につなげる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年 3 月 31 日 (17:30～18:30)
9. 人権・プライバシー	メンバー	蓮岡・高田・太西・瀧本・中瀬・谷口 古市・樗木・山本・横山・濱田・宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	10 人	2 人	0 人	13 人

前回の改善計画	・出来ていないとの意見が出た内容を職員全員で共通の意識として持ち配慮を行う。 ・ご利用者の気持ちが変わるような声かけを行う事で、言葉の拘束に繋がらないようにする。 ・うまく出来た声掛け方法（内容）について、ミーティングなどを使って全職員に周知徹底する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・うまく出来た声掛けを参考にすることで、その後の対応に活かすことが出来た。 ・職員間で話すことで、意識の向上につなげる事が出来た。 ・個人で活用できたが、全職員に周知徹底できたとはまでは言えない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	11	2	0	0	13
②	虐待は行われていない	12	1	0	0	13
③	プライバシーが守られている	3	10	0	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	7	2	0	13
⑤	適正な個人情報の管理ができています	4	9	0	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束、虐待を絶対にしないという意識をもって支援を行う事が出来た。 ・言葉の拘束に繋がらないように、言葉遣いに注意して話すように心がけていた。 ・多くの人がいる所で個人名を出して話さないように注意を払った。 ・本人の思いに寄り添う事で、心理的な拘束に繋がらないように配慮した。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・情報共有の際に、伝えなければならないという事に集中してしまい、個人情報を話す際に声が大きくなってしまった。 ・本人の気持ちが変わらないように話すと、説得しているような対応になってしまい、結局本人の気持ちを受け止める事が出来ていないように感じる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・個人情報やプライバシーに関する話し合い等を行う場合は、話に集中するばかりではなく、他利用者がいない場所に行くなどの配慮を優先したうえで行う。 ・身体拘束を行った場合の悪影響を再度認識することで、全職員で身体拘束は行わないとの認識を共有する。	